

インフルエンザ流行の注意報発令について

平成26年12月17日

保健予防課感染症係

三田（3225） 辻本（3135）

0742-22-1101（代表）

0742-27-8612（直通）

奈良県では、第50週（平成26年12月8日～12月14日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数が「14.15」となり、注意報発令の目安となる「10」を超えました。今後、大きな流行が発生する可能性があります。手洗い・うがいや咳エチケットの徹底など、感染の防止、感染拡大の防止対策の徹底をお願いします。

1. 注意報の発令

1週間当たりの患者報告数が増加しており、本格的な流行段階に入りました。

※第50週（12月8日～12月14日）の定点当たり患者報告数が14.15

2. 流行の拡大

定点当たり患者報告数が急激に増加しています。

定点週	第47週	第48週	第49週	第50週
期間	11/17-11/23	11/24-11/30	12/1-12/7	12/8-12/14
奈良県	0.87	2.67	5.11	14.15
全国	0.94	1.90	3.49	（未発表）

3. 重症化・死亡例について

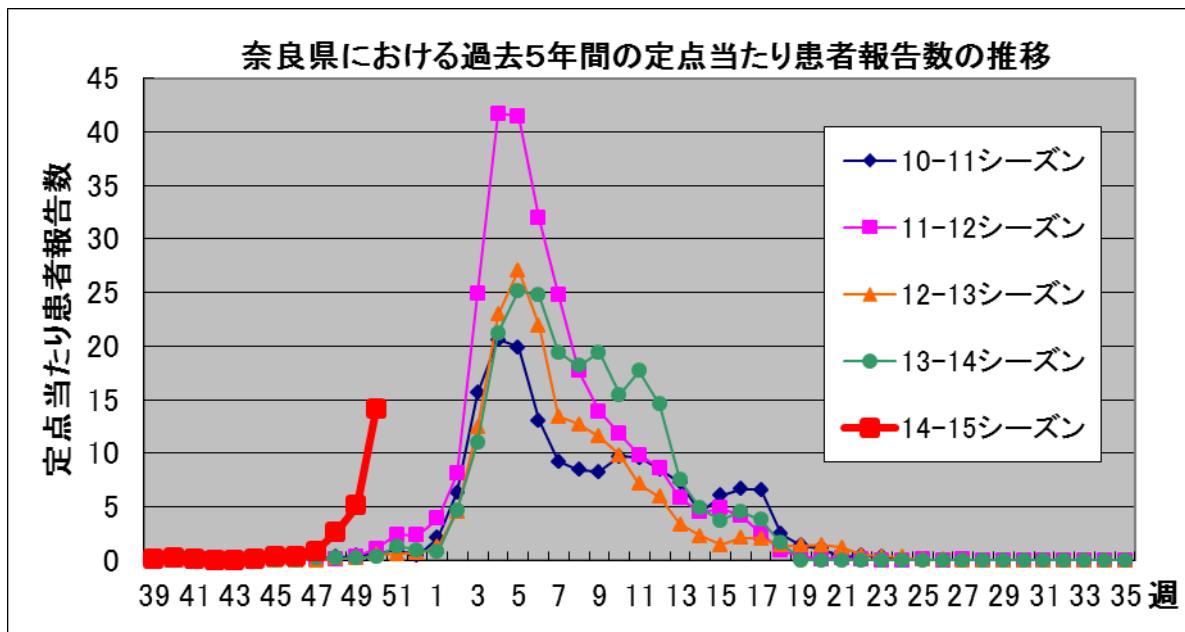
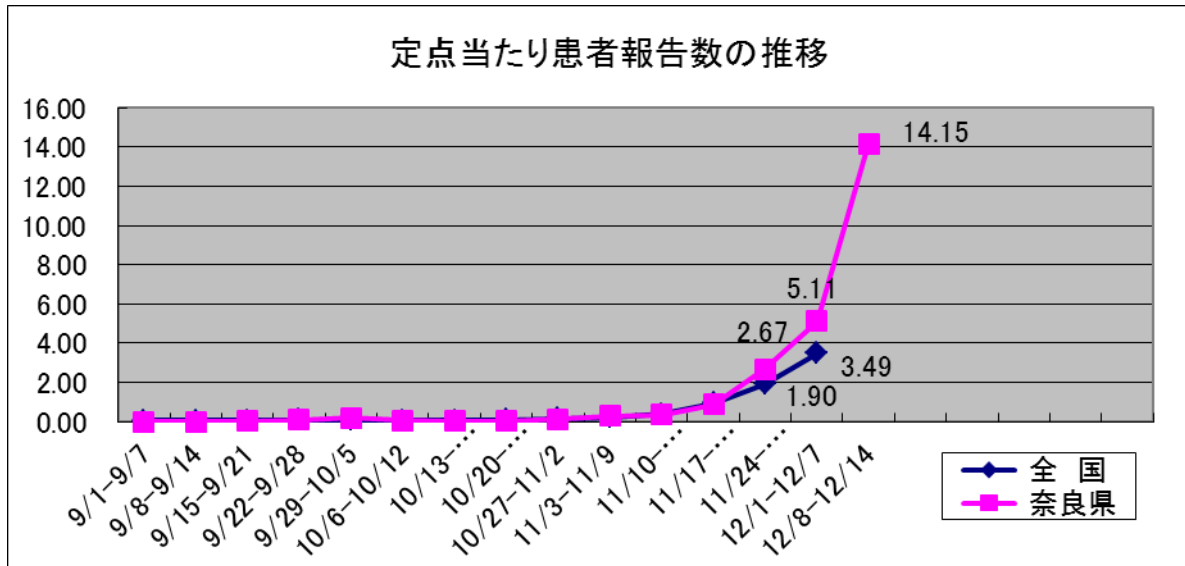
県内の12月以降の入院患者は7人で、死亡例は確認されていませんが、基礎疾患をお持ちの方や妊婦、小児、高齢者の方は重症化する場合がありますので注意が必要です。

4. 予防について

- ・ 感染予防と感染拡大の防止のため、外出先から帰った時など、こまめに手洗いやうがいをしましょう。
- ・ 咳やくしゃみの症状があるときはマスクをするなど、咳エチケットを徹底しましょう。
- ・ 日頃から十分な休養とバランスの取れた栄養摂取を心がけましょう。
- ・ 室内の乾燥を避け、適度な湿度を保ちましょう。
- ・ インフルエンザにかかったかなと思ったら、マスクを着用のうえ、早めに医療機関を受診しましょう。

資料

○発生状況



※ 定点とは県が指定した医療機関で、インフルエンザについては54か所の医療機関から週1回患者数が報告されます。

○地域別の状況

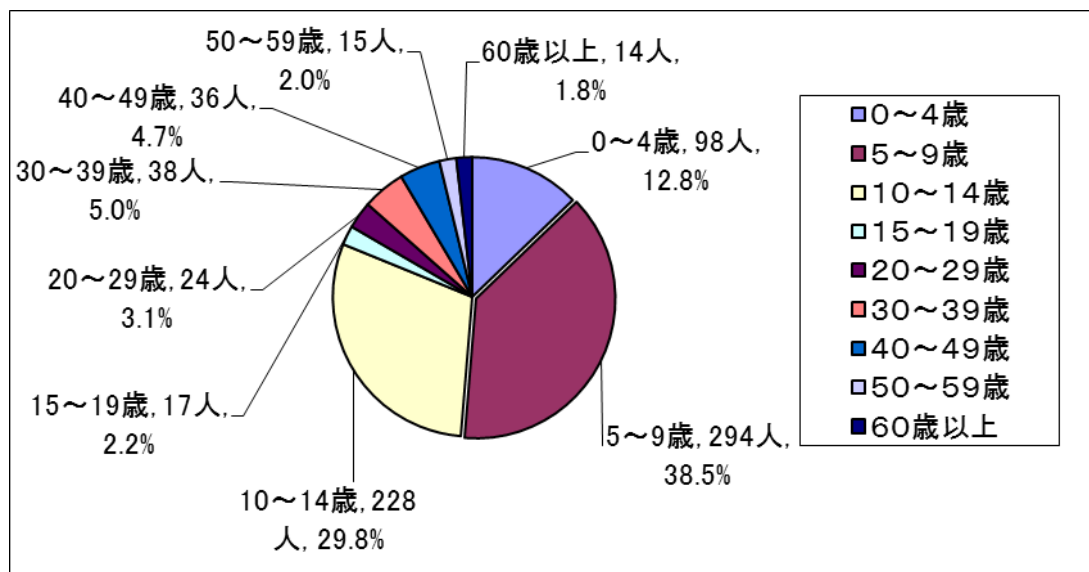
保健所管内別では奈良市、郡山、葛城、桜井で「10」を超えています。また、奈良市、郡山、葛城の順で報告数が多くなっています。

第50週の保健所管内別定点当たり報告数

奈良市	郡山	葛城	桜井	吉野	内吉野
22.82	14.44	13.27	11.55	1.67	2.00

○年齢別の状況

患者報告数が最も多い年代は5歳～9歳（294人）で、14歳以下の年代が全体の81%を占めています。



奈良県における患者報告数の年齢分布

○ウイルスの検出状況（平成26年12月17日 12:00現在）

奈良県におけるインフルエンザウイルスの検出状況は、今シーズンの検出総数27件のうち、A香港型が14件検出されています。